



# 河合良郎



千代田区議会 河合良郎

検索

所属委員会  
生活福祉委員会  
議会運営委員会  
駅及び駅周辺環境整備特別委員会  
懲罰特別委員会

## 千代田区立九段小学校の沿革

- 明治36年3月3日  
東京市上六尋常小学校認可  
九段小学校は明治36年区の要請を受け東京市長尾崎行雄氏が設立認可、東京市上六尋常小学校として開校。
- 大正12年9月1日  
関東大震災により校舎全焼  
関東大震災後、政府は東京の復興を推進するために帝都復興院を設け、その総裁に、後藤新平氏が就任。後藤氏は帝都復興計画を策定し7年をかけて復興事業を實行。
- 昭和元年12月5日  
新校舎竣工  
昭和元年年、九段小学校は震災復興小学校として改築されて以来、八十有余年の歴史を有しており千代田区に於ける震災復興小学校の象徴である。
- 昭和9年7月31日  
東京市東郷尋常小学校と改称
- 昭和16年4月1日  
東京市東郷国民学校と改称
- 昭和21年4月1日  
東京都九段国民学校と改称
- 昭和22年3月29日  
千代田区立九段小学校
- 平成5年4月1日  
千代田区立千代田九段小学校
- 平成6年1月1日  
千代田区立九段小学校
- 平成15年6月3日  
千代田区「景観まちづくり重要物件」指定  
平成十五年には区の景観まちづくり重要物件に指定。
- 平成19年8月31日  
校舎壁面塗装改修
- 平成21年2月23日  
経済産業省「近代化産業遺産」認定  
平成21年には国の近代化産業遺産に認定。

## 九段小学校の建築物としての価値

千代田区に現存する唯一の震災復興小学校であり、登録有形文化財にふさわしい価値を備えていると言われています。設計は東京市学校建設課が担当、施工は石井権三氏が請け負いました。現在、東京都で復興小学校を現役で使用しているのはわずか7校です。また、九段小学校は「初期型」窓に大正末期から昭和初期に登場した表現主義的な放物アーチを用いていること、建物の中央に昇降口、その両脇に階段室を配し、両翼部の外壁を前に出すことでファサードを左右対称に整えた格式重視のデザインとしてのこと。廊下側の窓の床上高さが教室と同じ750mmという特徴。時計台を端部に設けることで横長3階建の形態を強調し、放物アーチの窓を並べ外観立面をリズムカルにまとめる手法。の優れた意匠の校舎であることも建築史的価値を備えています。「初期型」の校舎は23区で九段小学校を残すのみとなりま

※『日本近代建築総覧』  
においても「特に価値が高い」と評価されている。



詳しくは、千代田区議会ホームページ<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp/> をご覧ください。

## 一般質問(要旨)

**安** 全で安心できる子供達の居場所づくりと同時に地域の教育力の向上を目指した「放課後子どもプラン」の施行から5年が経過した。学校内学童クラブと連携して実施している「放課後子ども教室(学び・遊び・体験活動)」の現状及びその成果と課題について問う。

**答弁** 学年を越えて関わる機会の増加、保護者や地域の方によるボランティア等、子供の健全な発達や地域の教育力向上に寄与している。今後は夏休み中の開催等の拡充を検討する。

**本** 区の青少年の育成活動は様々な主催団体がそれぞれにイベントを実施している。これら既存の有機資源を今後効率よく有効に活用できないか。

**答弁** 類似した活動を整理し、関係諸団体による横断的な議論の場の設置を検討する。



千代田区議会 はやお恭一

検索

所属委員会  
生活福祉委員会  
(仮称)高齢者総合サポートセンター調査特別委員会  
災害対策特別委員会

# はやお恭一

区民の皆様より多くのご意見をいただきました。

皆様のご意見は平成25年度予算要望いたしました。

■飯田橋駅周辺の開発について  
駅周辺の開発だけではなく駅も含めた再開発にして欲しい。(匿名)

■子育て支援  
ひとり親家庭のサポートについて  
ひとり親手当てなどのサポートは年収制限が低めに設定されている。本区は住宅費をはじめ物価が高い。頑張っているひとり親家庭の金銭面でのサポートを検討して欲しい。(女性)

(抜粋)

ありがとうございます。皆様の貴重なご意見を今後の活動に活かして参ります。他のご意見も順次ご紹介させていただきます。

## 一般質問(要旨)

**コ** ミュニケーションとしての広聴活動の重要性、区民と行政の協働における情報共有の必要性、区民意識を理解する行政評価制度の仕組みなどの観点から質問を行う。

**答弁** 区民のニーズを把握し定性的に分析することが広聴の基本。区民が情報発信の主体として活動するには、広範な意見・要望・提言の聴取に努め、行政運営に反映していく事が大切。政策広聴は全庁的に情報の共有化を図っている。内部評価は実施方法を見直し基準の明確化を図る。評価指標の設定方法は一層明確な指標設定に努める。平行して昼間区民の世論把握の仕組みを構築する。区民参加型評価「フォーカス・グループ・インタビュー」の新手法については、研究、検討していく。

■まちづくり  
歩道について  
歩道の車庫の入り口部分が車の出し入れのため低くなっている、足の悪い高齢者にはとても歩きにくい。人間優先の歩道にしてください。(女性)

■景観について  
江戸から続く由緒ある地域でさえ高層化されていくことに憂慮する。(男性)

■子どもの遊び場について  
小さな子ども達が群れて遊べる場所を作って欲しい。(女性)

## 一般質問(要旨)

**区** の緑化は、平成10年3月に策定された『千代田区緑の基本計画』が原点。これまでの緑化増進の成果と課題は？

**答弁** 千鳥ヶ淵四季の道の整備や、道路・公園のアダプトシステム等の取組みをしてきた。区の緑被面積は15年間で約23ha、緑被率は19%から21%に増加。

**昨** 年10月に策定の『豊かな緑を育むための都市緑化植物ガイドライン』に例示されている都市緑化植物一覧表で街路樹に適しているのは48種。区の街路樹は4905本。区が主体的に街路樹を首都東京の中心地千代田区に相応しい街並みに整備していくべきではないか？

**答弁** 街路樹は、質の高い都市緑化を進めるために都市緑化植物ガイドラインを活用していきたい。関係部が密接に連携し具体的に取組んでいく。



千代田区議会 林則行

検索

所属委員会  
環境文教委員会  
(仮称)高齢者総合サポートセンター調査特別委員会

# 林則行